



義務教育学校 曾爾小中学校だより

令和3年(2021)10月4日
編集発行責任者 森川 敏和

学校教育目標

「心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもち、ふるさとを大切にする子どもの育成」

「MOTTAINAI」を考えよう!!

秋といえば、皆さんはどのような「秋」を思い浮かべるでしょうか。「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」「実りの秋」などいろいろな「秋」がありますが、今日は「食欲の秋」にちなんで「もったいない」を考えたいと思います。この「もったいない」という日本語を世界に通じる言葉にしようとした人がいました。その人は、環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニアのワンガリ・マータイさんという方です。マータイさんが2005年の来日の際に感銘を受けたのが「もったいない」という日本語でした。環境の3R (Reduceごみ削減・Reuse再利用・Recycle再資源化) をたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対するRespect尊敬の念が込められている言葉として、マータイさんはこの美しい日本語を環境を守る世界共通語「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。そして、さまざまな国際会議で「もったいない」という言葉とその意味を全世界に発信しました。

マータイさんにより「MOTTAINAI」という言葉が世界中に広がり、今では海外の多くの人々が使うようになってきているらしいです。日本は世界でたくさんの食べ物を無駄に捨てている国の一つだといわれています。使われずに捨てられる食材や食べ残しを入れると、1年間でごみとして処理される食べ物の量は、国民一人当たり170kgにもなるそうです。一方で、世界中で食べるものがなくて亡くなってしまう子供の数は、1日に24,000人ともいわれています。

平気で食事を残したり捨てたりせず、食べられることに感謝をして食事をしてほしいと思います。

水泳記録会

9月2日(木)に水泳記録会があり、授業での水泳学習の成果を記録会で発揮しました。顔を水につけるのも怖かったのに、水泳の授業で練習して顔を水につけることができるようになった人もいます。また、学年があがり、ビート板無しで泳げるようになったという人も多いのではないのでしょうか。記録会当日は、バタ足(ビート板有り)とバタ足(ビート板無し)とクロールに分かれて自己の記録に挑戦しました。



【クロール(ビート板有り)】



【クロール】



【バタ足(ビート板有り)】

第2回 曾爾小中学校体育大会 9月11日(土)

今年も昨年に引き続いて、新型コロナウイルス感染症予防対策により縮小開催の体育大会になりました。2学期が始まってから、雨の日も多く練習も十分に出来ませんでした。体育大会当日も朝から雨が降り、グラウンドの状態も悪かったのですが、児童生徒、教職員だけでなく、保護者の皆さんにも協力いただき、30分遅れではありましたが体育大会を開催することが出来ました。

大会のテーマ「みんなで力を合わせて全力で楽しもう!燃えろ!そにっこ!!」のもと子どもたち全員が全力で各競技に取り組み、思い出に残る体育大会となりました。ご観覧いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



【運べ!ウーダー-イツ】



【鼓隊】



【今年もデ イスタンス】



【綱引き】



【全員リレー】



【ラジオ体操】



宇陀アニマルパーク

奈良教育大学美術科の先生と多くの学生さんがリモートでワークショップをしていただきました。テーマは『・・』です。

リモートではありましたが、みんなで一つのものをつくりあげる楽しさや創造の喜びを体験しました。

今回は、・・で内容は、・・です。



「一秒の言葉」大切にしたい言葉です

春から昇降口で朝の挨拶をしています。
「おはようございます」の声かけに4月当初は、恥ずかしいのでしょうか、何も言わずに通り過ぎる子どもたちも4ヶ月あまり続けるとあいさつが苦手な子どももまだまだ、声は小さいですが返事を返してくれるようになってきました。
「おはようございます」この一秒ほどの短い言葉が返ってくることで、1日のはじまりの爽やかさを感じます。

『一秒の言葉』小泉吉宏（著）の書籍に次のような一節があります。
「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。
「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に、人の優しさを知ることもある。
「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。
「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で、幸せあふれることもある。
このような言葉を大切にしたいものです。



小泉吉宏（著）
24年前の” ゆく年くる年 ” で放送されたあの ” 幻の詩 ” が本に!

24年前に放送されたテレビCM。「はじめまして。この一秒ほどの言葉に・・・」この胸を打つ詩は奇跡のように人々に語り継がれ、1冊の本になりました。

「はじめまして。この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じる
ことがある・・・」24年前に、1回だけ放送された60秒のテレビCM。
この”幻の詩”は、結婚式、卒業式で読まれたり、道徳の本に掲載され
るなどして、語り継がれ、2008年6月には、同CMのリメイク版も放送
されました。著者が撮影した静謐な写真と詩で構成した愛蔵本です。

